

JAPAN CERTIFIED PACKAGING PROFESSIONAL CLUB



日本包装専士会
JCPPC

第26回包装技術セミナー

環境配慮JISの動向とICTによる食の安全への取り組み



日時 平成29年1月30日(月)

13:00~16:40(受付開始12:30)

会場 江東区文化センター 3階

第1・第2研修室

主催:日本包装専士会

後援:公益社団法人 日本包装技術協会

協賛:日本包装管理士会

★ セミナーのご案内 ★

日本包装専士会は、包装技術者の研鑽と懇親を目的として、研修会やセミナーの開催、コース研修会実施等の活動を行っています。この包装技術セミナーは、国内外の激しい社会情勢の変化に柔軟な対応をすべく課題の共有化とコミュニケーションを図り、包装技術に携わる方々に広く公開して共に学習しようとの趣旨で毎年開催しています。

包装を取り巻く環境は、地球環境保護、食の安全と安心、IT情報革命、流通の変化、生活形態の変化等、幾多の課題に直面しております。今回のセミナーは『環境配慮JISの動向とICT(情報通信技術)による食の安全への取り組み』と題し、最近注目されている「環境」「ICT」「食の安全」と包装に関して講演します。

本セミナーは、包装業界の枠にとらわれず、他の分野の方々にもオープンな雰囲気に参加して戴けるように企画しています。

交流会も含め関係者各位の積極的な参加をお待ちしております。

日本包装専士会 セミナー・キャンパス委員会

時間	テーマ・講師
13:00~13:10	会長挨拶 日本包装専士会会長 安原 明世
13:10~14:25	<p>テーマ1 【包装の環境配慮JISの概要と欧州及び我が国の最近の状況】</p> <p>講師:公益社団法人 日本包装技術協会 包装技術研究所 金子 武弘 氏</p> <p>講師:公益社団法人 日本包装技術協会 包装技術研究所 平田 成 氏</p> <p>環境配慮に関する国際規格群は2013年制定、2015年にJIS化されました。包装が本来果たすべき機能を満足しつつ、その重量や容積の最小化への努力を客観的に評価し、自己宣言する手順と評価基準を定めています。経済産業省ではこれらJISを各企業が活用し、設計段階から包装3R推進と、消費者に努力と成果を正しく伝える道具とすることを推奨しており、これらのポイントをご紹介します。</p> <p>また近年、EUでは「資源効率」を持続可能な成長を実現するための最重要テーマの一つと位置付けられており、EC諸国は2015年発表のCEPと行動計画の共有化と政策への展開を模索している。これら一連の流れと、日本国での動向予測をご紹介します。</p>
14:25~14:35	休憩
14:35~15:35	<p>テーマ2 【ICT・RFID技術を活用した「食の安全・安心」への取組】</p> <p>講師:凸版印刷株式会社 セキュア販促部部長 藤田 憲祐 氏</p> <p>弊社ではICタグ(RF-ID)を利用したソリューションを提供しています。近年ICタグのコストダウンもあり、製品個々の管理への採用も始まってきました。</p> <p>そこで、従来の入出庫管理、在庫管理機能に加えて、模倣品対策にも対応したICタグを開発しました。その事例として、ご採用頂いた日本酒可視化プロジェクトをご紹介します。</p> <p>日本酒可視化プロジェクトは、生産段階から情報や流通経路、温度管理等の情報を管理、共有できるように可視化することで、製品とともに安心、安全を届けることを目的としています。また海外への販売拡張を支援するものと期待されます。</p>
15:35~15:45	休憩
15:45~16:30	<p>テーマ3 【IDP (インラインデジタルプリンティング) のご紹介】</p> <p>講師:スペシャレス株式会社 技術本部 柴田 剛 氏</p> <p>IDPは特殊な感熱顔料をインキに加工し、それを塗工した対象物にレーザー照射することで発色させる独自技術です。</p> <p>今回はその技術内容、適用事例、カラー化など今後の発展についてご紹介致します。</p>
16:30~16:40	実行委員長挨拶 日本包装専士会セミナー・キャンパス委員会 委員長代理 及川 英之
17:00~19:00	交流会

※1:受付は12:30より開始します

※2:閉会后、交流会会場に移動します

※3:講師および講演内容は予定となります

★開催要領★

日時 平成29年1月30日(月)

セミナー 13:00 ~ 16:40 / 交流会 17:00 ~ 19:00

会場 江東区民センター 第1・第2研修室(3階)

東京都江東区東陽4-11-3 電話 03-3644-8111

交通 ①東京メトロ東陽町駅1番出口より徒歩5分 / ②錦糸町駅・住吉駅より、都営バス東23系統で江東区役所バス停下車徒歩3分

対象 日本包装専士会会員、日本包装技術協会加盟会社社員、JPI関連団体会員
本テーマに興味をお持ちの方なら、上記以外のどなたでも参加できます。

受講料 受講のみ:3,000円 / 受講および交流会参加:5,000円

定員 60名(先着順)

応募締切 定員になり次第締め切り

申し込み方法 次の方法でお申し込み下さい(次面参加申込書もご使用下さい)

電子メール hideyuki_oikawa@agf.co.jp (包装技術セミナー係及川英之)

Fax 03-5338-6777(包装技術セミナー係及川英之)

支払い方法 次の方法でお支払い下さい

①銀行振り込み

銀行名:三井住友銀行東京中央支店(店番号015)

口座番号:(普通)3173326

口座名:日本包装専士会

②当日受付 受付で領収書と引き換えに現金にてお支払い

交流会 セミナー終了後、講師を囲んで交流会を開催致します(参加費2,000円)

ご参加の方々へ

《お断り》

配付資料は事前に電子メール等にて配布します

参加者以外の方には資料を配布しません

受講料の払い戻しは致しません

申し込まれた方がご都合の悪い場合、代理の方の受講は差し支えありません

《領収書》

領収書は、当日受付にてお渡しします

尚、請求書が必要な方は、申し込みの際にその旨をお書き添え下さい

会場案内



(写真・地図とも江東区文化センターHPより転載)

<地下鉄> 東京メトロ東西線東陽町駅1番出口 徒歩5分

<バス> 錦糸町駅(南口)/住吉駅より、都営バス東23系統「東京駅行」「東陽町駅行」にて「江東区役所前」バス停下車 徒歩3分

第26回包装技術セミナー参加申込書

包装技術セミナー係		及川 英之 宛		申込日:平成 年 月 日	
貴社名					
所在地	〒				
受講者名	所属・役職名			交流会	
				出・欠	
				出・欠	
				出・欠	
				出・欠	
				出・欠	
ご連絡先	TEL:		FAX:		
	E-Mail:				
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (お振込予定日 月 日)			<input type="checkbox"/> 当日受付	
参加料 名分 円 下記の銀行に振込みます。 三井住友銀行 東京中央支店(店番号015) 口座番号(普通)3173326 口座名 日本包装専士会					
受領日 **	月	日	金額 **	円	受付 No **

**部分は、記入しないで下さい

※ 振込口座は包装専士会会費の口座とは異なりますのでご注意ください